

ハッ場ダム現場見学会ツアーレポート（記録：仲田）

東京コンクリート診断士会（主催）、日本コンクリート診断士会（共催）が企画した「ハッ場ダム現場見学会」が平成30年11月17日（土）に実施された。雨模様の天気予報が一転、気温が低いが晴れの天気となり、見学日和となりました。

練馬区役所前に8時集合・受付、出発予定時刻前に早々と集まった23名を乗せ東都観光バスは渋滞を覚悟して出発した。

事務局の大野氏から見学スケジュールの説明

- 8:30～12:00 移動（練馬区役所）～（関越自動車道）～渋川・伊香保 IC～中居屋
- 12:00～13:00 昼食
- 13:10～13:40 現場事務所にてハッ場ダム概要説明
- 13:50～14:05 ダム右岸天端
- 14:15～14:30 ダム上流側（上流締切）
- 14:55～15:05 骨材プラント
- 15:30 現場事務所着
- 15:30～19:00 移動（現地）～渋川駅～渋川・伊香保 IC（関越自動車道）～練馬区役所
- 19:00 解散

東京コンクリート診断士会小野会長から見学会開催の挨拶があった。

高速道途中事故による渋滞があったが、予想された大きな混雑もなく順調に関越自動車道を走行。車内において参加された小林茂敏氏（ダム技術の有識者）より RCD 工法について事前講習がなされた。上里 SA にて休憩を取り、渋川・伊香保 IC からハッ場ダムのある長野原町へと一般道を走る。車窓からは晩秋の紅葉が見頃で美しい。

紅葉・ハッ場ダム見学の渋滞もなく予定より早く現地集合場所、昼食をとる中居屋に到着し、現地集合の面々10名と合流した。中居屋は、江戸時代の豪商「中居屋重兵衛」の末裔が営む割烹・蕎麦屋、重兵衛の業績を残した文献や史実が展示された商家の店内で歴史を感じ、石うすで挽いたお蕎麦（新そば？）と大盛りの天井を美味しく頂いた。時間に余裕があり、道の駅「ハッ場ふるさと館」に立ち寄る。上流側のダム湖となる箇所から遠目でダム現場を見、地元物産等々…地方ふるさとを感じる。



午後 1 時、八ッ場ダム建設所事務所（八ッ場ダム本体建設工事 清水・鉄建・IHI 異工種建設工事共同企業体）に到着。米山副所長さんに迎えられ事務所内セミナー室に案内され、八ッ場ダム概要の説明を受ける。

「洪水を防ぐ」八ッ場ダムのミッションのひとつである画面が待ち受けていた。

① 八ッ場ダム計画の経緯

- ・利根川の治水の始まりは江戸時代に始まる。徳川家康によって「利根川の東遷」（水路や支脈川、堤防等を築いて流れを東に移し、銚子で海に注ぐように耐規模な河川改修）を行われた。しかし、洪水被害は収まらず明治 33 年から昭和 14 年にかけて数回の改修工事が進む。にもかかわらず昭和 22 年のカスリーン台風の記録的豪雨で堤防が決壊、洪水が東京の葛飾区や江戸川区にまで及ぶにいたった。
- ・カスリーン台風による利根川の堤防の決壊（関東地域の被災）が引き金となり、昭和 27 年から調査に着手。昭和 44 年に住民との交渉が始まるが難航するが、平成 7 年に基本協定が締結され建設事業に取り掛かる。民主党政権時代には、工事が中止されるが、平成 27 年にダム本体右岸の発破による掘削工事で再開。

②八ッ場ダムの概要

利根川水系ダム



矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、菌原ダム
下久保ダム、草木ダム、渡良瀬遊水地

・ダムの目的

洪水調節：利根川の基準地点八斗島における洪水時のピーク流量を上流部の洪水と併せて調節する。

新規都市用水の供給：水道水（群馬県、藤岡氏、埼玉県、千葉県、北千葉広域水道企業団、茨城県）、工業用水（群馬県、千葉県）へ供給

発電：ハッ場ダム発電所において、最大出力 11,700kw の発電

・ダムの工事内容

ダム土工：約 84 万 m³

堤体工：

ダム型式：重力式コンクリートダム

堤高：116.0m（利根川水系ダム 8 位）

堤頂長：290.8m

堤体積：約 100 万 m³

流域面積：711.4km²（利根川水系ダム 1 位）

総貯水容量：1 億 750 万 m³（利根川水系ダム 3 位）

湛水面積：約 3km²

基礎処理工：

コンソリデーショングラウチング工：3,171m

カーテングラウチング工：27,464m

リムグラウトトンネル工：305m

法面工：

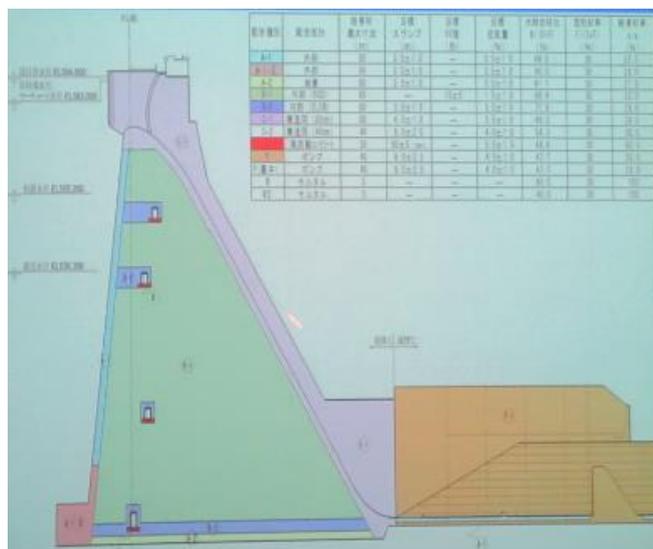
法枠工：14,000m²

植生工：37,117m²

仮設備工：骨材製造設備・コンクリート製造設備・コンクリート打設設備

ダム用水門設備工：(IHI インフラシステム)

・コンクリート工（ハッ場ダム建設所説明資料より）



RCD 工法（本体部）

普通セメント 100kg/m³・フライッシュ 30kg/m³、骨材寸法 80mm

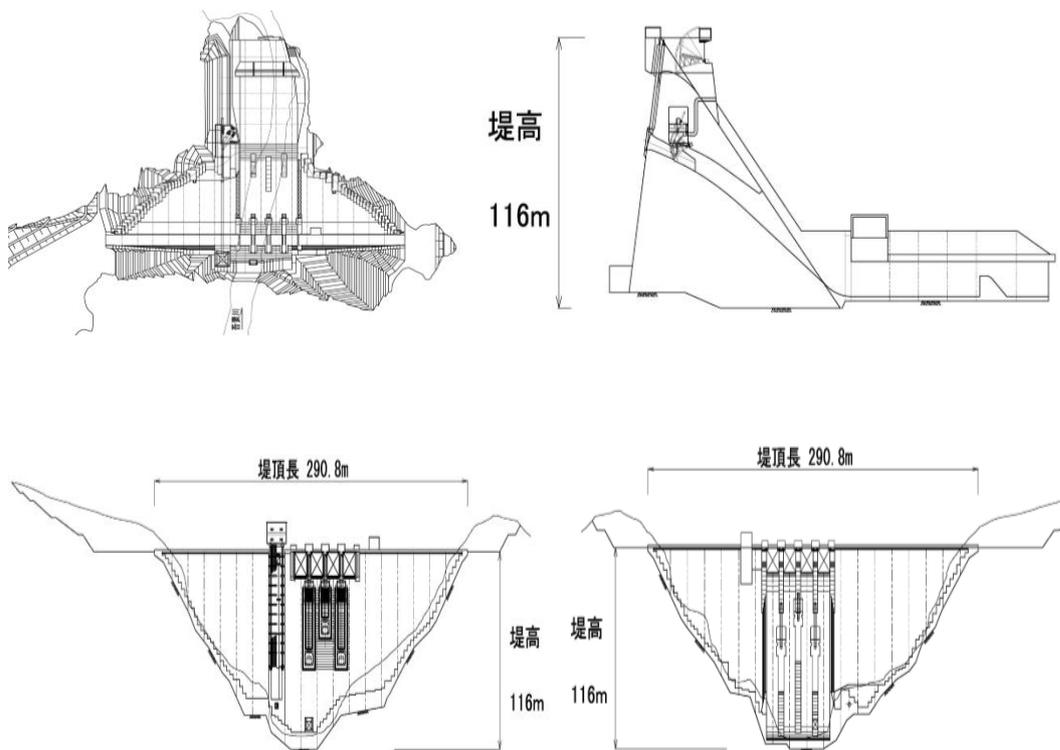
コンクリート練上り温度：23℃ 硬化温度：45℃に調整

供給能力：360m³/h



RCD 打設状況（ハッ場ダム建設所説明資料より）

- ・ダム設計図（ハッ場ダム工事事務所 HP より）



*現場見学写真と比較参考にして下さい。

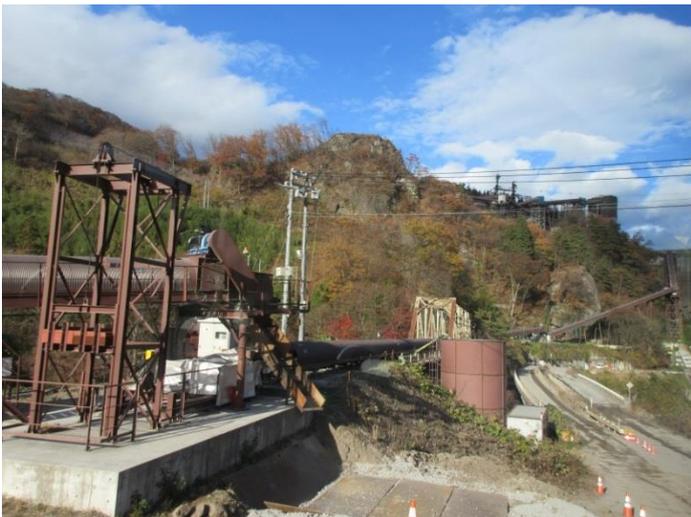
④現場見学
写真参照



上流側吾妻溪（湖面の下になる）



骨材コルゲート(予備)



骨材搬送バルコン：骨材コルゲート→コンクリートプラント



ダム上流側全景



コンクリートプラントを下から望む



選択取水設備（左）、放流口（右）



ハッ場溪谷（左）廃線になった吾妻線・ハッ場橋梁（右）





ダム天端（右岸より望む）



下流側（発電所工事）



生コンプラント（3m³ミキサー）2機



グラウト注入プラント



クレーン支柱の角度を調整する仕組み（左側）



大型クレーン



八ッ場ダム仮締切工事内容

骨材プラントへの見学は時間がなく断念。工事事務所に戻り、お礼を述べ練馬駅への帰路へ…
高速道路での渋滞もあったが無事練馬駅に到着、解散となった。

以上